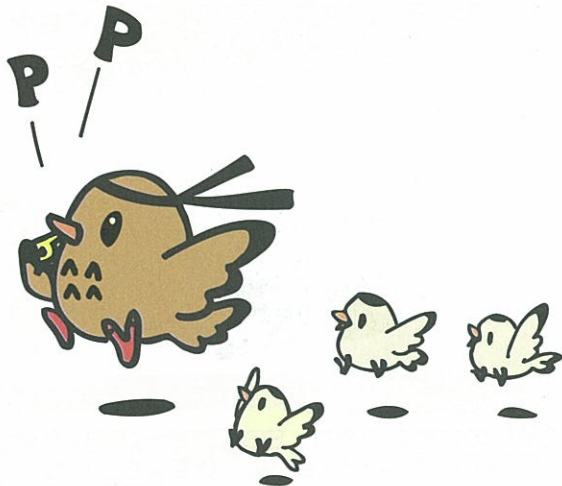




◆ **ミサゴ** (タカ科) 【**通年**】

体の下面が白い大型のタカ。海岸、大きな川、湖などにすみ、水中にダイビングして魚を捕らえる。
(準絶滅危惧：国、長崎県)



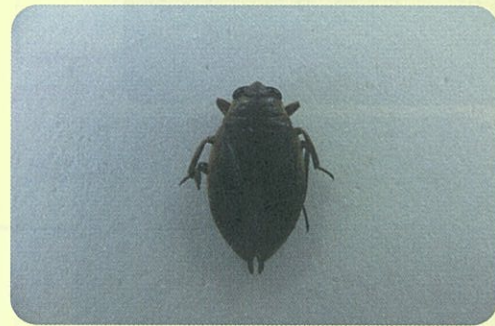
昆 虫

平成17年から平成18年の調査ではトンボ類、バッタ類、カメムシ類、コウチュウ類、チョウ類など、700種近い昆虫が観察されています。



◆ **ネアカヨシヤンマ** (ヤンマ科)

平地や丘陵地のヨシやマコモのはえた池や沼に生息する。クモの巣に飛び込んでクモ狩りをする珍しい習性がある。
(準絶滅危惧：国、絶滅危惧ⅠA類)



◆ **コオイムシ** (コオイムシ科)

水田等の浅い水域に生息している水生昆虫。10月ごろより陸上及び水中で越冬する。
(準絶滅危惧：国、絶滅危惧ⅠA類：長崎県)



◆ **トノサマバッタ** (バッタ科)

大型のバッタで、オスよりメスの方が大きい。色に差があり、緑色型と褐色型の2つのタイプがある。



◆ **アオモンイトトンボ** (イトトンボ科)

平地の池や沼で普通にみられる。成虫は水辺をはなれて草地などにもいる。

ほ乳類

平成18年5月と7月の調査では5種のほ乳類が観察されています。

もっとも多くみられるのはタヌキで、カヤネズミやイタチ属の一種もみられます。



◆ **カヤネズミ** (ネズミ科)

赤褐色で、体調はわずか6センチほど。体重は7グラムほどしかない国内最小の野生のネズミ。
(準絶滅危惧：長崎県)



◆ **タヌキ** (イヌ科)

レッドデータブックの分類

- 絶滅危惧Ⅰ類 …絶滅の危機に瀕している種
 - 絶滅危惧ⅠA類 …ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種
 - 絶滅危惧ⅠB類 …ⅠA類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種
- 絶滅危惧Ⅱ類 …絶滅の危険が増大している種
- 準絶滅危惧 …現時点では絶滅危険度は小さいが、生育条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種

